

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいになっています。

秋吉台

帰水に一時湖出現

大きい湖は今年初

梅雨が明けたのですが、戻り梅雨とかでぐずついた天気が続いていました。7月18日夜から大雨が降り続き、翌朝には帰水に一時湖が出現しているのが確認できました。カルストロードの路側帯から帰水の底の方を見ると、ゴーゴーと水が出ている音が聞こえます。

この大量の雨水の流れゆく先はどうなっているのでしょうか。もし今度、一時湖が出現したときは、青景の湧水へ行ってみたいと思います。



秋吉台 季節の花 オレンジ色の花が目立ちます

秋吉台を車で走行していると目に付くオレンジ色の花。多分、コオニユリかオニユリのどちらかでしょう。どちらもオレンジ色に濃い濃紅色の斑点がありますが、コオニユリはそれが少し薄いようです。コオニユリは結実しタネで増えますが、オニユリはムカゴで増えます。タネに比べてムカゴは数が少ないのですが、育ちは早いようです。

ヒシの花を初めて見ました。水面に咲く花は中々見る機会が無かったこともありますが、どうしても見たいという思いをそそられる花ではなさそうだったからです。実はヒシとの出会いは花より実の方が先でした。ゆでたヒシの実は、水中で育ったとは思えないほどホクホクで、クリのようだったと記憶しています。



観察会「森の昆虫教室・クワガタムシ」(7月16日)

森の昆虫教室・クワガタムシ編を行いました。はじめに角田先生と一緒にエコフィールドをまわって昆虫を観察。アオスジカミキリやラミーカミキリに出会いました。昆虫によって葉っぱの食べ方に違いがあるのは面白いことです。その後、クワガタムシについてお話を聞いて、各家族ごとにヒラタクワガタのオス・メスのペアがプレゼントされました。子どもたちは、思っていたより大きいヒラタクワガタを見て大喜びでした。



モリアオガエル放流

レスキューした卵からカエルに成長

6月19日に「モリアオガエルの観察と卵のレスキュー」を行いました。その時にレスキューした卵を育てて、オタマジャクシからカエルに成長したとのことで、2家族の方が放流に訪れました。しっぽが短くなったオタマジャクシや、すでにカエルになったものもいます。

早速、いっしょに池へ行き水の中へ放ちました。まだカエルになりきっていないのはすぐに水の中へ入って行きましたが、カエルになったのは水槽から這い上がって来ます。1cmほどの小さいカエルが、一生懸命です。とにかく、可愛い。



子どもの頃の思い出

アメリカンドッグ と ガマの穂

田舎生まれの田舎育ちの子供の頃。当然コンビニなども存在しない小学生の頃、スーパーマーケットなるものができて物珍しく思いました。その頃、テレビで見たアメリカンドッグ。それがガマの穂のように思えて「テレビの世界では、あんな物を食べている。美味しいはずがないだろう」と。以来、ずっとガマの穂からできていると思い込んでいました。それから何年かして、妹がそれを買ってきてくれた。うまそうな匂いにたまらずカブリついた。うまい。ガマの穂ではなかった。



10月の行事

10月15日(土) 「秋吉台の化石」

秋吉台で化石を観察して、その後実際に化石を採集します。

10月16日(日) 「蓄音機で音楽会」

ゼンマイ仕掛けの蓄音機の簡単な説明と昭和初期の流行歌を視聴します。